

「東海ワークシェアリング研究会」を発足しました。

愛知県を中心にワーク・ライフ・バランスの周知啓蒙活動を行うために設立されたNPO法人BitL(ビットル、本社:愛知県名古屋市 理事長:横井寿史)は、東海三県の企業を中心に集め、ワークシェアリングについての研究会(座長:相山女学園大学 現代マネジメント学部 吉田良生教授)を立ち上げました。

【趣旨】

一言にワークシェアリングと言っても、それにはいくつかの類型があります。

- ・雇用維持型(緊急避難型)
- ・雇用維持型(中高年対策型)
- ・雇用創出型
- ・多様就業型

この中で、一番イメージされやすいのは「雇用維持型(緊急避難型)」だと思います。つまり愛知県で特に利用されている雇用調整助成金や中小企業緊急雇用安定助成金の対象となるようなワークシェアリングです。これは工場などにおいて一時帰休をし、生産の調整をするとともに賃金コストの増大を防ぐということが主な目的だといえるでしょう。

しかし、そのワークシェアリングはまさに緊急避難的なものであって、長期的に導入していけるものではありません。

そこで私達は、多様就業型ワークシェアリングに着目しました。これは様々な立場の人たちのニーズに応えられる働き方を認めていこうとするものです。子育て世代、介護世代や高齢者の方たちでも働き続けられる仕組み作りができれば、それはワーク・ライフ・バランスの実現につながります。

多様就業型ワークシェアリングは、一般的に言われる痛み分けではなく、ワーク・ライフ・バランスの実現なのです。

そうした意味で、私達はワークシェアリングの研究会を立ち上げました。今後はこの研究会で得られた事例などをもとに多様就業型ワークシェアリングの導入マニュアルを作成しようと考えています。そしてこのマニュアルを利用して中小企業などなかなかワーク・ライフ・バランス施策を導入できないでいる企業へその導入を推進していきます。

◆東海ワークシェアリング研究会 概要◆

| | |
|----------|--|
| 主催 | 特定非営利活動法人 BitL |
| 座長 | 相山女学園大学 現代マネジメント学部 吉田良生教授 |
| 進め方 | 一回の開催に付き 2 社の事例発表。制度の導入にあたり得られたメリット、デメリット、苦勞した点などについてディスカッションをしながら、知見を深める。 最終的には、事例をまとめてマニュアルのようなものを作成する。また、集大成としてシンポジウムを行う。 |
| 実施計画 | 第 1 回 2009 年 5 月 27 日(水)15 時～17 時 ※実施済み 第 2 回 2009 年 7 月 10 日(金)10 時～12 時 第 3 回 2009 年 9 月 第 4 回 2009 年 11 月 第 5 回 2010 年 1 月 第 6 回 2010 年 3 月 シンポジウム 2010 年 5 月 |
| 参加企業 | アイコクアルファ株式会社 河村電器産業株式会社 敷島製パン株式会社 株式会社ジェイテクト 株式会社ポッカコーポレーション 株式会社松坂屋 他 ※今後も参加企業は増える予定です。 |
| BitLについて | BitLとは、『Balance in the Life(人生におけるバランス)』の頭文字をとったものです。仕事と生活を別物とは捉えず、両者ともに人生を構成する重要な要素だと考え、命名しました。 |

《このリリースに関する報道関係の方からのお問い合わせ先》

□ NPO 法人BitL TEL:052-768-3552(横井社労士事務所内) e-mail:bitl@optstyle.com 担当:横井
HP: <http://bitl.biz/>